

1. 施設の概要

- 所在地 秋田県大館市泉町9番地19
- 施設 認知症対応型GH18床、老人デイ30人、就労継続支援10名(対象外)、サービス付き高齢者住宅22戸(対象外)
- 1階：相談事業所(①居宅介護支援事業所、②障害者就業・生活支援センター、③障害者相談支援センター)、ヘルパーステーション老人デイサービス、レストランいずみ(障害者就労継続支援B型事業)
- 2階：認知症対応型GH(2ユニット)
- 3階・4階：サービス付き高齢者住宅(22戸)
- その他の事業 障害者支援施設 道目木更生園、障害者支援施設 軽井沢福祉園、障害者支援施設 矢立育成園、障害福祉サービス事業 白沢通園センター、特別養護老人ホーム 長慶荘、特別養護老人ホーム 神山荘

法人Webサイト <http://www.fukuokf.jp/index.html>

2. 地域及び施設の特徴

(地域の特徴)

秋田県大館地域は人口減に加え、核家族化、共働き世帯が多く、在宅で介護を行うには限界があると考えられる地域である。

現在大館市の高齢者率は、約34%(秋田県は約32%)を超えている。秋田県には社会福祉法人がサービス付き高齢者住宅を運営している施設が今までなかった。



(施設の特徴)

今次計画施設は老人デイサービス、障害者就労継続支援B型でのレストラン運営、認知症対応型GH、サービス付き高齢者住宅を備える複合型福祉施設である。

法人設立から40年かけて培ってきた高齢者介護と障害者支援の経験を踏まえ、今次施設に事業を集約しているため、各事業の連携が密接に取られている。



具体的には、サービス付き高齢者住宅に入居している利用者が介護が必要となった場合は、併設の GH や法人内の特養施設を随時紹介することが可能であることである。

実際に、今次施設のサービス付き高齢者住宅に入居されていた認知症のある利用者が身体機能が低下して施設内の GH に移られたという。このような流動性に対応する

ために、施設内併設の居宅介護支援事業所にいるケアマネージャーとも上手く連携を取り合っている。

また、サービス付き高齢者住宅の利用者が定期的に施設内の老人デイサービスや障害者就労継続支援 B 型のレストランを利用することができる。レストランは希望によっては、入居している部屋まで届ける配食サービスも行っている。



3. 地域との連携



市内にある他法人との理事長同士の会議を定期的（年2回）に行っている。火事、地震、洪水などの災害に対応するため、各施設で受け入れられる利用者と市民の数について話し合っている。

大館市周辺は例年積雪が多い地域なので、施設の職員と地元の高校生で地域の除雪を行っている。レストランやトイレについては、施設利用者や職員の外、地域の方も利用できるようにして、施設と地域のつながりを形成している。



左図は大館発祥のきりたんぼ鍋。

寒い地域ならではの郷土料理。

施設でも提供され、地域の人に愛されている。